

## 可燃物処理施設整備事業に伴う送電線接続工事負担金について

### 1 経過

- (1) 平成25年8月、可燃物処理施設整備検討委員会からの第3次報告を受けて、現在計画中的の新可燃物処理施設の発電に伴う売電を前提とした送電線への接続について、中国電力と協議を開始した。
- (2) 中国電力からの事前提示額に基づき、平成27年7月臨時議会で工事負担金 200,000千円を計上した。
- (3) このことを受けて、中電側は詳細検討を開始した。
- (4) 平成27年12月、中国電力から正式回答(工事負担金 251,400千円)があった。

### 2. 負担金増額理由

増額理由	平成27年3月 事前提示額	平成27年12月 正式回答	増加額 (千円)	備 考
地中線工事 個所の追加	高速道路部分 0.04 km	高速道路部分 0.07 km (+0.03 km) 河原(変)出口付近 0.04km (+0.04km)	23,300	鳥取自動車道の横断部分について、詳細検討の結果、延長が必要となる。 また、河原変電所出口付近の電柱には、既に多数の電線が設置されており、新たな電線設置が困難なため、地中化とする。
送電ルート の見直し	架空送電線 4.3 km	架空送電線 4.8 km (+0.5 km)	16,700	詳細検討の結果、住宅密集地に新たに電柱を設置することが困難なため、住宅密集地以外のルートに変更する。
鉄塔基礎 の見直し	千代川横断に 必要となる鉄塔 2基を標準基礎 で設計	千代川横断に必 要となる鉄塔2基 を <u>特殊基礎</u> で設計	11,400	詳細検討の結果、鉄塔基礎個所が軟弱地盤と考えられ、より強度の強い基礎が必要となるため。
増 加 額 合 計			51,400	

# 工事概要図

